



最新情報を手に入れよう！



法学部 ホームページ

法学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには、「法学部ホームページ」をご確認ください。カリキュラムに関する情報と学生のコメントが充実！



新着情報



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試

検索

/ クリック! \



関西大学の最新情報をチェックしよう！



関西大学 入試センター
**LINE公式
アカウント**



友だち登録は
こちらから！



関西大学 入試センター
公式Instagram



関西大学
入試広報グループ
公式 X



関西大学 入試センター
公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

関西大学 学部案内 2026

法学部

FACULTY OF LAW

法学政治学科



関西大学

法学部

URL https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_law/ 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel. (06) 6368-1121 (大代表) e-mail k-hobun@ml.kandai.jp

法と政治を学び より良い社会を探求する



CONTENTS

法学部について	01
4年間の学び	03
自由に学べる多彩な講義	05
将来を見据えて学べる コース・プログラム	07
ゼミ紹介	09
教員紹介	10
法学部で考え行動した4年間	11
卒業生からのメッセージ	13
進路・就職	14

関西大学 法学部でできること。



法学部での学びは、広い意味での紛争、もめごとを公平・公正に解決する力を身に付けることを1つの重要な目的としています。どんな時代や社会でも、人々が共に生きていく限り、必ず紛争は起きます。お金の貸し借りや、離婚・相続をめぐる争い。交通事故や振り込め詐欺等の事件・事故。震災や感染症等の被害に対して国が十分な救済措置を講じないことや、原発や軍用基地の設置等をめぐって深刻な軋轢が、国と住民、住民間で生じることもあるでしょう。また、軋轢や争いは、人と人との間に生ずるだけでなく、国家と国家の間でも生じます。領土問題や戦争です。法学部生は、法や政治に関する知識を身に付けるだけでなく、紛争を公平・公正に解決する力を身に付けていきます。このような力は、社会のさまざまな分野から高く評価され、期待される能力です。

関西大学法学部をめざす皆さんへー学部長メッセージー



法学部長
石橋 章市朗 教授

法学部で育む、社会を変える力

法学部をめざすと、「弁護士や政治家になりたいの?」と聞かれるかもしれません。確かに本学部は関西法律学校をルーツにもち、法律・政治・行政分野で活躍する卒業生が数多くいます。しかし本学部がめざすのは、専門家の育成にとどまるものではありません。私たちの社会には、価値観や立場の違いによる争いや排除といった課題があります。本学部では法学と政治学を学び、こうした課題を深く分析し、解決方法を考え、周囲と協力しながら行動できる力を養います。法律を学ぶことで、暮らしを支えるルールや権利を守る仕組みが理解され、政治を学ぶことで、多様な意見を調整し社会の方向性を決める方法が見えてきます。社会をより良くするために必要な「考える力」を千里山キャンパスで身に付けましょう。



4年間の学び

法学部では、1年次から4年次まで、少人数で行う
双方向性の高い授業を通じて、法学や政治学に関
論理的思考力やプレゼンテーション能力を効果的

授業が充実しています。
する問題の調査・検討能力をはじめ、
に育むことができます。

1年次

2年次

3・4年次

初年次教育



すべての1年次生が履修し、自分が何に興味や関心を持っているのか、1年間にわたる授業を通じてじっくり見極めます。

基幹科目は「法学部でできること」を知るために、すべての1年次生が履修する講義科目です。

自由に授業を履修するには、まずは専門分野の基礎を知る必要があります。自分の興味を見つけるためのチャンスがこの基幹科目なのです。

憲法1・2

政治的な問題には明確な「正解」はなく、考えるための道具が必要です。本講義では、主権・民主主義・天皇制・人権の概念や歴史を学び、論理的・批判的思考を養います。国家論や人権侵害などの重要課題を憲法の視点から考察し、実際の社会問題に対応できる基礎力を培います。憲法を通じて、複雑な問題を深く理解し、自らの考えを構築する力を身に付けます。

民法1・2

民法は、人と人との関係を規律する法体系であり、契約・財産・家族法などのルールを定めます。本講義では、契約の成立・履行・解除を中心に、権利と義務の在り方を学びます。また、裁判例を通じて実際の適用を理解し、法律の解釈力を養います。社会で賢く行動し、適切な法的判断ができる力を身に付けることを目標とします。

刑法各論

刑法は、犯罪と刑罰のルールを定める法体系です。本講義では窃盗罪・強盗罪などの「財産犯」を中心に学びますが、単なる犯罪類型の知識ではなく、刑法全体を貫く原理原則を重視します。刑法は社会の変化に応じて進化するため、新たな犯罪や法改正にも対応できる思考力を養います。刑法の基本構造を理解し、より発展的な学びにつなげることをめざします。

基礎法学

法学には、実定法の解釈や適用だけでなく、それらの基盤へと掘り進む探究も不可欠です。本講義では、法思想史・法哲学・法社会学・法制史を通じて、法および社会の相互の影響関係や、その背後にある思想・価値観について考察します。これら基礎法学の視点を通じて、実定法学への理解を深めるとともに、法学全体をその根源から立体的に捉える力を養うことをめざします。

現代政治論1・2

法と政治は不可分であり、法律の制定や運用を理解するには、政治の仕組みを知ることが必要です。現代政治論1では、選挙・政党・官僚・利益団体・メディアなど現代政治の構成要素を学び、政治過程を分析する力を養います。また現代政治論2では、政治の対象や政治へのアプローチを拡張し、国際関係、政治史、政治思想について学びます。

<2025年4月現在>



「導入演習」は、基本的なアカデミック・スキルを身に付けます。
法学、政治学の固有の考え方に基づいて、論理的な議論を構成したり、
小論文を作成したりするためのトレーニングを行います。



「基礎演習」では、導入演習で身に付けた知識や考え方を実際に活用
して、問題を整理し、妥当な結論を導く力を養うことを目的とし、討論や
レポートを通じて論理の基盤を確立します。

自由に選べる6つの科目群

自分の関心のある授業を見つけやすくするために、
約150ある専門講義科目を6つの科目群に分類しています。

法職科目群

ビジネス法科目群

公共政策科目群

法政史・法政理論科目群

国際関係科目群

政治学科目群

詳しくは
P.5へ

2
年次



法学部には1学年に700人ほどの学生が在籍しています。
その中には、共通の目標や問題関心をもつ学生も少なくありません。
そうした学生たちが机を並べて切磋琢磨する、そうした機会の意義を本
学部は認識し、1年次、2年次生を対象に「特修プログラム」を設けてい
ます。講義科目と、1年から1年半にわたる少人数制の演習科目を組み
合わせて履修することで、継続的な指導を可能にします。

詳しくは
P.7へ

法曹プログラム
法曹コース

公務員
プログラム

ビジネス法
プログラム

英語で発信する
政治学プログラム

3・4
年次



大学で「ゼミ」といえば、3～4年次に履修する「専門演習」を指しま
す。これまでの演習との違いは、学生自身の興味関心に基づいて、
法律や政治に関わる高度なテーマを探究する点にあります。
法学部は卒業論文が必修ではありませんが、専門演習を通じて論
文作成するための指導を受けることで、「研究論文」の単位を別に
修得することもできます。

多彩に広がるゼミの研究領域

- 基礎法学
- 民法
- 政治学・行政学
- 刑法・刑事学
- 商法・経済法
- 国際政治学
- 憲法・行政法
- 知的財産法
- など
- 国際法
- 労働法
- 民事訴訟法

詳しくは P.9へ

学びを選び、深める



4年次生
北 彩那さん
(大阪／清教学園高校出身)

学部選択の
きっかけ

公務員になりたいという目標に向けて、長い歴史がある
関西大学で法律学と政治学を学ぼうと考えました。

1年次

- ▶ 憲法、民法、刑法など法学の基礎となる学問を中心に学ぶ
- ▶ 問題に対して深く分析し、論理的な答えを出す難しさを感じる
- ▶ 導入演習で判例の読み方、意見の構成の仕方などを修得する

2年次

- ▶ 生活と密接に関わる民法に興味をもつ
- ▶ 契約や相続、婚姻などにどのように法律を適用して解決していくのかを学びたいと思う

3年次

- ▶ 民法を研究するゼミを選択
- ▶ 法的問題についてディベート
- ▶ 先端的なテーマを取り上げてグループ報告を実施

4年次

- ▶ 卒業論文で「代理懐胎の是非」を取り上げる
- ▶ さまざまな文献を読み込み、教授の指導をいただいて卒業論文を完成させる
- ▶ 夢だった裁判所事務官として社会に貢献していきたい



法学政治学科 2年次生
橋本 和樹さん
(大阪／府立北千里高校出身)

学部選択の
きっかけ

公務員として必要な知識を得やすいカリキュラムと、
公務員プログラムで政策立案を経験できる点が魅力でした。

1年次

- ▶ 導入演習でレポートの書き方やプレゼンテーションの方法、文献の調べ方などを身に付ける
- ▶ 刑事学を専門とする先生から近い距離で学び、知見が広がる

2年次

- ▶ 公務員プログラムに参加
- ▶ 公共政策学の政策過程分析という分野に興味をもつ
- ▶ 一つの政策に対してさまざまな知識や理論を駆使して考察する点にやりがいを感じる

3年次

- ▶ 公共政策学を研究するゼミで研究に取り組む
- ▶ 仲間とディスカッションを通じて、研究対象への理解や考えを深める

今後の目標

- ▶ キャリアセンターの講座や行事も利用することで公務員試験の合格をめざす
- ▶ 国家公務員になり、社会問題を解決して国民の生活を支えることで社会に貢献したい



自由に学べる多彩な講義

法学部には約150ある専門講義的に学びを深めるためのガイ
スに必要な法律について理解

義科目があり、これらを6つの科目群に分けて整理しています。科目群は、自分の興味や将来の目標に合わせて学生が主体
ラインです。例えば、ビジネス法科目群と国際関係科目群を中心に履修を組み立てることで、グローバルな視点でビジネ
を深めることができます。

自分の関心のある授業を見つけやすくするために、約150ある専門講義科目を6つの科目群に分類しています。コース制や専攻ではありません。

法職科目群

法職科目群は、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法などの法領域を体系的に探求します。法律の基本から実践までを段階的に理解することで、裁判官、弁護士、検察官など法曹に必要な知識を着実に身に付けられます。事例講義では具体的な事件や判例を扱い、理論と実務を結びつけながら法的思考力を強化します。

- 科目一覧
- 【キー科目】民法3・4・5・6・7・8 ●刑法総論 ●民事訴訟法1・2・3 ●刑事訴訟法1・2 ●事例講義憲法(各テーマ) ●事例講義民事法(各テーマ) ●事例講義刑事法(各テーマ) ●会社法1・2・3
 - 【関連科目】憲法3・4 ●行政法1・2 ●行政救済法1・2 ●労働法1・2 ●労働法3・4 ●国際法1・2 ●国際私法1・2 ●民法詳論1・2 ●民事執行・保全法1・2 ●倒産法1・2 ●有価証券法 ●商法総則・商行為法 ●知的財産法1・2 ●経済法1・2 ●展開講義1(リーガルリテラシー1・2) ●展開講義2(法律実務論) ●展開講義1(刑事法特論1) ●展開講義1(刑事法特論2) ●展開講義1(刑法各論) ●展開講義2(登記法1・2)

法政史・法政理論科目群

法政史・法政理論科目群では、歴史や思想の観点から法や政治の在り方を深く考察します。ローマ法や東洋・西洋法制史をはじめ、日本政治史や法思想史などを学ぶことで、現在の法制度や政治構造がどのように形成され、発展してきたのかを理解します。法や政治の哲学や思想史などを通じて、制度の背景や根拠を問う思考力を磨くことができます。

- 科目一覧
- 【キー科目】ローマ法1・2 ●東洋法制史1・2 ●西洋法制史1・2 ●日本法制史1・2 ●西洋政治史1・2 ●日本政治史1・2 ●法哲学1・2 ●法思想史1・2 ●政治思想史1・2 ●法社会学1・2
 - 【関連科目】法学入門 ●政治哲学1・2 ●法と経済学 ●国際法1・2 ●国際政治学1・2 ●外国法(ドイツ法概論1・2) ●外国法(現代中国法1・2) ●外国法(フランス法概論1・2) ●外国法(英米法概論1・2) ●外国法(EU法概論1・2) ●展開講義2(日本社会論) ●展開講義2(政治と人間) ●展開講義2(平和学) ●展開講義2(平等問題の最先端) ●展開講義1(ジェンダーと法・政治)

ビジネス法科目群

ビジネス法科目群では、企業活動を取り巻く法律や制度を体系的に学び、ビジネスに必要な法的素養を身に付けます。会社法、倒産法、知的財産法、経済法など、多彩な法分野を通じて、企業経営や市場競争の仕組みを把握し、グローバル化するビジネス環境にも柔軟に対応できる視野を養います。これらの科目を学ぶことで、経営戦略やリスク管理に関する法的リテラシーを高め、実務の現場で生かせる知識とスキルを身に付けることができます。

- 科目一覧
- 【キー科目】会社法1・2・3 ●倒産法1・2 ●知的財産法1・2 ●経済法1・2 ●商法総則・商行為法 ●労働法1・2 ●労働法3・4 ●国際取引法1・2 ●民事執行・保全法1・2
 - 【関連科目】民法3・4・5・6 ●国際私法1・2 ●保険法 ●有価証券法 ●海商法 ●民事訴訟法1・2・3 ●租税法1・2 ●社会保障法1・2 ●展開講義2(国際租税法) ●展開講義2(登記法1・2) ●展開講義2(法律実務論) ●展開講義2(国際通商法) ●展開講義2(スポーツ法学) ●展開講義2(民事法の現在) ●展開講義2(法律文書の作成実務) ●展開講義2(経済の変化と経済法制の変遷) ●展開講義1(ビジネス法) ●展開講義2(金融商品取引) ●展開講義2(会社法判例講読) ●展開講義2(商法判例講読) ●展開講義2(保険取引)

国際関係科目群

国際関係科目群では、国際法や国際政治学、外交史などを通じて、国境を越えた法的・政治的な課題に取り組みます。紛争解決や国際協力の枠組み、グローバル経済のメカニズムなどを学ぶことで、世界規模の利害調整や問題解決のプロセスを把握します。国際政治経済論や国際私法も含まれ、多文化社会での共存や交渉に不可欠な視野を広げることができます。

- 科目一覧
- 【キー科目】国際法1・2・3・4・5・6 ●国際政治学1・2 ●外交史1・2 ●国際私法1・2 ●国際政治経済論1・2
 - 【関連科目】西洋政治史1・2 ●政治思想史1・2 ●政治過程論1・2 ●法思想史1・2 ●ローマ法1・2 ●国際取引法1・2 ●法と経済学 ●比較憲法 ●比較政治学1・2 ●外国法(ドイツ法概論1・2) ●外国法(現代中国法1・2) ●外国法(フランス法概論1・2) ●外国法(英米法概論1・2) ●展開講義2(平和学) ●展開講義2(平等問題の最先端) ●展開講義2(国際租税法) ●展開講義1(国際人権法1・2) ●中国の政治 ●東南アジアの政治 ●アメリカの政治 ●イスラーム圏の政治

公共政策科目群

公共政策科目群では、公共問題を解決するための法律や行政機構、その運営メカニズムについて深く学びます。行政法や行政救済法、行政学、公共政策学など幅広い科目を通じて、政策立案や行政手続の実際を理解し、公共サービス向上への具体的な知識を身に付けます。また刑事学や社会保障法なども扱い、多面的な視点から社会の課題を捉え、実効性のある解決策を探る力を養います。

- 科目一覧
- 【キー科目】行政法1・2 ●行政救済法1・2 ●行政学1・2 ●公共政策学1・2・3 ●刑事学総論 ●刑事学各論 ●租税法1・2 ●社会保障法1・2
 - 【関連科目】憲法3・4 ●地方自治法 ●地方自治論1・2 ●労働法1・2 ●労働法3・4 ●経済政策1・2 ●社会政策1・2 ●財政学1・2 ●経済原論1・2 ●比較政治学1・2 ●民法7・8 ●刑事訴訟法1・2 ●政治過程論1・2 ●国際政治経済論1・2 ●展開講義1(現代公務員論) ●展開講義1(刑事法特論1) ●展開講義1(刑事法特論2) ●展開講義2(行政法の現代的課題) ●展開講義1(刑法各論) ●展開講義2(法律文書の作成実務) ●展開講義2(市民活動論) ●展開講義2(いじめと法)

政治学科目群

政治学科目群では、社会全体の利害や価値の対立がどのように政治過程を経て調整・決定されるかを探究します。政治過程論、政治機構論、政治心理学などの科目を通じて、政策や選挙、政党などの動きを分析し、政治的アクターの行動原理を理解します。国内外の政治情勢を踏まえながら、多角的な視点で現代社会の課題に向き合う力を培うことができます。

- 科目一覧
- 【キー科目】政治過程論1・2 ●比較政治学1・2 ●政治心理学1・2 ●政治学原論1・2 ●地方政治論1・2 ●政治哲学1・2
 - 【関連科目】行政学1・2 ●財政学1・2 ●政治思想史1・2 ●国際政治学1・2 ●外交史1・2 ●西洋政治史1・2 ●日本政治史1・2 ●経済政策1・2 ●社会政策1・2 ●社会学概論1・2 ●比較憲法 ●公共政策学1・2 ●公共政策学3 ●国際政治経済論1・2 ●展開講義2(市民活動論) ●展開講義2(政治学方法論) ●中国の政治 ●東南アジアの政治 ●アメリカの政治 ●イスラーム圏の政治



将来を見据えて学べるコース・プログラム

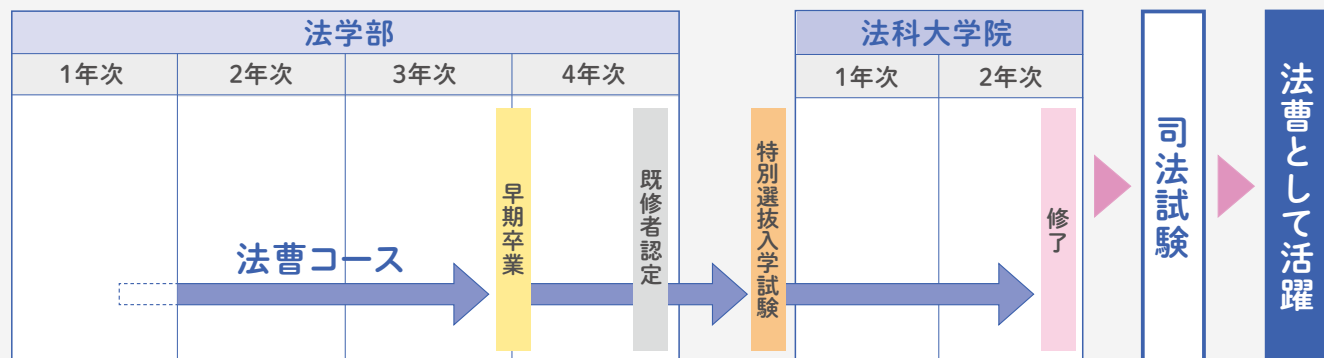
特修プログラムは、演習科目と講義科目等を一体的に履修することで、体系的な知識の習得を促すとともに、学習意欲や進路選択のモチベーションを維持・強化することを目的とし、自身の興味関心に合わせて選択することができます。

関西大学 法曹コース

本学法学部では、法曹を志す学生（法科大学院進学や司法試験予備試験受験希望者）が、法曹という職業の社会的役割や使命を自覚し、進路選択のモチベーションを強化することを目的として、「法曹プログラム」を運営してきましたが、国の制度に則り、2019年度入学生から、従来の「法曹プログラム」を軸とした、「関西大学法曹コース」を設置しています。

なお、法曹コースの受講にあたっては、学業成績等による選考があります。

〈法曹コース履修者イメージ（学部3年+大学院2年の場合）〉



▶ 法曹コース修了のメリット

- 1 司法試験受験までの時間的・経済的負担の軽減**
「関西大学法曹コース」の修了に加えて、所定の要件を満たし、早期卒業を認められることにより、学部3年+大学院2年の段階的・一貫的な学習が可能となり、司法試験受験までの時間的・経済的負担が軽減されます。
- 2 法科大学院「特別選抜入学試験」への出願資格獲得が可能**
「関西大学法曹コース」の修了に加えて、所定の要件を満たした場合、法科大学院（他大学も含む）が実施する「特別選抜入学試験」への出願が可能となります。特別選抜入学試験には「5年一貫型教育選抜※」と「開放型選抜※」の2種類があります。

※【本学法科大学院が実施する特別選抜入学試験】
「5年一貫型教育選抜」：論文試験を実施せず、書類審査の得点（学部時代の成績を重視）及び面接試験の得点の合計点により可否を判定
「開放型選抜」：書類審査、論文式試験（法律科目）の得点および面接試験の得点の合計点により可否を判定

□「関西大学法曹コース」と「法曹プログラム」との関係

法曹コースを修了するための第一段階として、法曹プログラムが設けられています。法曹コースの骨格となる基本的な科目を体系的に履修することができます。法曹コース受講者で、法曹プログラムの修了要件を満たしたものを「法曹プログラム修了者」として認定します。さらに、法曹コース修了要件を満たすことができた場合は、「関西大学法曹コース修了者」として認定します。なお、ともに、成績証明書にその旨を記載します。



法学政治学科 4年次生
末長 弥也加さん
（兵庫／県立川西緑台高校出身）

ビジネスと法の関わりを学んだことをきっかけに、IT分野で法の知識を生かしたいと考えました。

法曹コースでは司法試験に合格するために必要なことを学びますが、もちろんその中には民間企業でも役立つ法律があります。私は会社法で経営判断原則について学んだ際、ビジネス的な側面が法律に関わってくことに面白さを感じ、そこからビジネスについて興味をもちました。卒業後はIT企業で働くことを選びましたが、会社法や労働法でさまざまな事例を学んだことは、社会で類似の問題に直面した際に役立つだろうと感じています。



公務員プログラム

実践的な授業を通じて、学習意欲や進路選択のモチベーションを維持・強化します。

国や自治体を知るには「政策」を理解することが有効でしょう。政策の立案と実施は、行政や公務員の重要な仕事の1つだからです。そこで本プログラムには、社会問題の調査分析と施策立案のための授業が組み込まれています。なお、公務員プログラムの受講にあたっては、学業成績などによる選考があります。



学生インタビュー 政策の具体的な分析と考察を通して、めざしたい公務員像をイメージできました。

「地方の交通弱者の増加と支援策」をテーマに、具体的な政策の過程を調べました。法改正や交通の規制緩和など、細かな流れを分析。政策がどこでつまづいたのか、今後同じつまづきを回避するにはどうすればいいかを考察しました。学生同士での議論や公務員のゲストスピーカーによる講義などを通して、自分がどういった公務員になりたいのか、将来像を描く助けになりました。

法学政治学科 4年次生 福島 千晴さん（広島／市立舟入高校出身）



ビジネス法プログラム

ビジネス法プログラムは、民間企業をめざし、早期にビジネスの場で活躍するために必要な能力を身に付けたい2年次生が選択可能です。新製品・新サービスの具体的な企画立案のためのトレーニングに加え、ビジネス法務の豊富な経験を有する実務家の教員が作成したビジネスの現場を想定した課題などに取り組みます。なお、ビジネス法プログラムの受講にあたっては、学業成績などによる選考があります。



学生インタビュー ビジネスとビジネスをめぐる法を学び、自らの事業スキームにも生かすことができました。

まずはビジネスそのものを知ることからスタート。経営戦略や課題解決に役立つ思考の型をいくつも学び、新規事業の立案などに取り組みました。何度も企画書を書き、論理的な思考と伝え方を修得。さらに弁護士の先生方からビジネス法を学び、議論を重ねることで本質から考える習慣が身に付きました。こうした生きた知識は、起業した事業スキームの改善にも役立ちました。

法学政治学科 3年次生 鳥井田 稔仁さん（兵庫／滝川第二高校出身）



英語で発信する政治学プログラム

留学をめざす法学部生が自国の法や政治について学びながら、他国の学生と十分に知的な議論を行えるよう、既存の文化と言葉の壁を突破することをめざします。

法学部では、社会を動かすルールである法律や、それらが作られ、運用される環境としての政治について学ぶことができます。このプログラムでは、法学部で学ぶ内容を前提としながら、英語を媒体として議論を行う素地を作ります。言語が異なれば、語彙が違っただけではなく、議論する際の論理的な構造も違ってきます。自分の意見を英語で論理的に組み立てて、相手を説得することをめざしますが、相手の考えを尊重しながら聞く姿勢も同時に体得していきます。なお、英語で発信する政治学プログラムの受講にあたっては、学業成績等による選考があります。



学生インタビュー 国際的なトピックについて議論を交わし、自らの意見を英語で伝えることができました。

2年次の春学期は、ジェンダーについてさまざまな視点から調べ、意見を交わしました。例えば、日本では同性婚が認められていませんが、世界には認めている国が多いという現状があり、私は変えていく必要があると考えました。意見が正しいかどうかよりも、自ら発言して議論を深めることが大切だと実感。国連の各国代表の立場となってディベートを行い、視野が広がったと感じました。

法学政治学科 2年次生 川上 弥生乃さん（大阪／府立今宮高校出身）





ゼミ紹介

法学部では、社会のさまざまな課題について、法律学・政治学の観点からアプローチする多彩なゼミが開講されています。



教員紹介 Academic staff

知的財産法

山名ゼミ

現代社会における「ブランド・デザインの保護」と知的財産権の役割を考える

AI(人工知能)の急激な進歩と普及は、我々の生活を大きく変化させています。AI自体は、人間の生産性や学習効果を飛躍的に高めるツールとして高評価されていますが、一方で、知的財産権侵害や真偽不明情報流布の懸念もあります。本演習は、そのような現代社会において、「ブランド、デザイン」をどのように保護、活用できるのかを、判例(著作権法、商標法、不正競争防止法、特許法、意匠法関連の判例)分析を通して共に考えています。また、知的財産法を専攻する留学生との交流も通して、グローバルな視点からも知的財産権保護の役割を考えています。



憲法

原島ゼミ

現代社会に生起する具体的問題を憲法学の観点から考察し議論する

AI技術は民主制や自己決定権にいかなる影響を及ぼすか、SNSでの表現の法的限界はどこにあるか、フェイクニュースは憲法上保護されるべきか——現代社会においては新しい問題が次々と生まれています。ゼミでは、これら憲法学の現代的論点を判例・学説を手掛かりとして考察しています。現実存在する問題はそう単純ではなく、そう簡単には「分からない」ものばかりです。それでも相互の考え方を理解しながら議論を深め、何か新しい問いや考えを生み出すために、自分の頭で問いを設定して考え、自分なりの言葉で粘り強く言語化する力を鍛えることが、ゼミの目標です。



労働法

河野ゼミ

労働問題の議論を通じて将来の働き方について考える

河野ゼミでは、働くということや働き方に関わるテーマについて、報告・議論をしています。テーマは報告者が自由に決めており、労働時間、ハラスメント、非正規雇用、ワーキングプア、障害者雇用、フリーランスの保護など、各自の関心のある事項を取り上げています。議論には、ゼミ生全員に参加してもらいます。最初は自分の意見を述べることをためらっていた方も、秋学期に入る頃にはだいぶ慣れてきた様子で、議論の時間が足りなくなることもあります。ゼミ長・副ゼミ長や係を中心に、親睦を深めるためのイベントも随時企画してもらっています。



国際政治経済論

吉沢ゼミ

国際関係について政治と経済の視点から考える

テーマは「グローバル化とグローバル・イシュー」です。貿易摩擦から気候変動、貧困、感染症まで、さまざまな地球規模課題がメディアで頻繁に取り上げられています。こうした問題について、特に政治と経済の相互作用に着目しながら話し合います。議論と研究発表が中心なので、自分の意見を言う力が自然と身に付きます。また、留学経験のあるゼミ生がほぼ毎年いて、いろいろな国の話を聞くこともできます。ご興味があれば、「関大先生チャンネル」に上げてある授業紹介動画をぜひご覧ください。



基礎法学

栗辻 悠 教授

ローマ法

古代ローマ世界の法廷

市原 靖久 教授

法思想史

西欧中世盛期の法思想

木原 淳 教授

法哲学

法概念と政治的なものの関係

佐立 治人 教授

東洋法制史

中国古代の罪刑法定主義

森 大輔 教授

法社会学・法と経済学

法と社会の関係の経験科学的な分析

小石川 裕介 准教授

日本法制史

近現代における法と法学の諸相

公法

荒木 修 教授

行政法

行政権に対する法的統制

浦東 久男 教授

租税法

租税法主義と租税法の解釈・適用

小泉 良幸 教授

憲法

人権論の基礎概念の解明

高作 正博 教授

憲法

憲法学における民主制の規範理論

田中 謙 教授

行政法・環境法

環境管理をめぐる法と政策

西村 枝美 教授

憲法

憲法上の権利保障

村田 尚紀 教授

憲法

憲法学の基礎理論

原島 啓之 准教授

憲法

インターネット社会における憲法問題

国際法

中野 徹也 教授

国際法

条約に関する国際法

西 平等 教授

国際法

国際法構想の史的展開

刑事法

飯島 暢 教授

刑法

刑法学の基礎理論とその応用

葛原 力三 教授

刑法

刑法の基本思想

佐伯 和也 教授

刑法

刑法学の基本問題

永田 憲史 教授

刑事学

刑事学の諸問題・いじめ防止対策推進法の研究

松代 剛枝 教授

刑事訴訟法

刑事訴訟法の基礎理論

民法

今野 正規 教授

民法

リスク社会の民事責任

白須 真理子 教授

民法

親権と第三者

寺川 永 教授

民法

役務提供契約の法理に関する研究

馬場 圭太 教授

民法

債権法に関する現代的諸問題

松尾 知子 教授

民法

民法—財産法・家族法の交錯—

水野 吉章 教授

民法

公営住宅法の制度

村田 大樹 教授

民法

権利侵害と不当利得

隈元 利佳 准教授

民法

肖像の商業利用の法的規律

商法

伊藤 吉洋 教授

会社法

会社法における諸問題

上田 真二 教授

商法

会社法・金融商品取引法の基本問題

金 玲 教授

商法

保険法・海商法に関する諸問題

笹本 幸祐 教授

商法

商取引法全般

原 弘明 教授

商法・会社法・保険法

会社法と他の法領域との交錯・融合

経済法

笠原 宏 教授

経済法

市場機能を踏まえた競売法・政策の在り方

知的財産法

山名 美加 教授

知的財産法

知的財産制度の国際的調和をめぐる諸問題

民事訴訟法

吉田 直弘 教授

民事訴訟法

民事訴訟における当事者の法的地位の解明

池田 愛 准教授

民事訴訟法

判決効(主に既判力・執行力)の主観的範囲

社会法

植村 新 教授

労働法

労使自治の実現と法の役割

福島 豪 教授

社会保障法

社会保障への法学的アプローチの探究

河野 奈月 准教授

労働法

労働関係における個人情報取扱い

政治学

池田 慎太郎 教授

外交史

戦後日本政治外交史

石橋 章市朗 教授

公共政策学

政策過程分析

大津留(北川) 智恵子 教授

国際政治学

アメリカ政治外交

河村 厚 教授

政治哲学・政治心理学

政治哲学・政治心理学の基礎的研究

坂本 治也 教授

政治過程論

現代日本政治と市民社会の研究

津田 由美子 教授

西洋政治史

ヨーロッパ政治史

廣川 嘉裕 教授

行政学

地域活性化・まちづくり

若月 剛史 教授

日本政治史

日本政治史・日本近現代史

浅野 良成 准教授

比較政治学

世界各国の民主政治の比較

百木 漢 准教授

政治思想史

アーレントを中心とした政治思想史

吉沢 晃 准教授

国際政治経済論

EUの政治経済・地域統合

西村 結衣 助教

国際政治学

人権をめぐる政治

<2025年4月現在>



法学部で考え行動した4年間

～希望の将来をかなえた先輩たち～



人材業界に内定

法学政治学科 小西 奏哉さん の場合
2025年3月卒業 (奈良／権原学院高校出身)

入学時

将来に役立つことを
学びたいと考え、
社会生活を支える法律に
着目した

高校生の時点では「何になりたい」といった目標が明確ではありませんでした。そこで、どういう方向に進むにしても、世の中のルールにはどういふものがあり、どのように成り立っているのかを学ぶことは役立つはずだと考え、法学部を志望。講義を聞くだけでなく、特修プログラムで議論や発表を経験できそうな点も魅力でした。また、大学生活に対しては、さまざまなことを経験しながら、ともに切磋琢磨する友人を作りたいと思っていました。

1年次

知識の量を増やすだけでなく
自分の考えを広げる学び方を知った

1年次はオンライン講義が主体でしたが、先生方が分かりやすく工夫してくださったおかげで、法学と政治学を基礎から体系的に学ぶことができました。ある先生が講義の中でおっしゃった「大学では知識を受け取るだけでなく、文献などを读んだ上で、自分がどう考えるかを書き記すことが大切です」という言葉を受けて、学んだ条文に関わる判例や論文を調べ、自分ならどう考えるかを書くようにしました。



2年次

社会課題の解決について全体を俯瞰して考え、発信を続けた

公務員プログラムに参加し、現在起きている社会問題について学びました。少人数のグループで問題について意見を交わし、有効な対策を考える内容です。例えば日本の人口減少をめぐって、さまざまな観点からその要因を検討。根本的な問題は何か、どうすれば解決に近づくのかといったように、正解のない問いについて考え、発信し続けた1年間でした。政策のある部分だけに注目せず、社会や組織全体を俯瞰的に捉えるようになりました。

3年次

他大学のゼミとの
討論会に参加し条文の
解釈の幅が広がった

民法のゼミに所属して、他大学のゼミとの討論会に参加。1つの判例について、支持する考え方と批判する考え方のどちらかが正解になり得ることに面白さを感じました。また、条文の解釈をめぐって、面識のない相手に自分たちの考えを主張することは初めての経験で、他大学のゼミから鋭い質問を受けたのですが、事前に準備を重ねていたこともあり、その場で対応できました。条文を解釈する際に、批判的な視点をもつことが重要だと実感しました。



4年次

法的責任のあり方について自分なりの
新たな解釈を生み
出した

就職活動を6月に終了して、その後は卒業論文の制作に取り組みました。テーマは「共同不法行為者の一部責任」で、例えば車に轢かれた人が後続の車に再び轢かれた場合、賠償責任はどうあるべきかといった内容です。一つ一つの事例を検討するのではなく、複数の学説やそれに対する批判などを比較しながら、自分の新たな解釈を生み出すことが到達目標なので、今まで以上にさまざまな資料に目を通して執筆を進めています。



物流業界に内定

法学政治学科 玉野 来実さん の場合
2025年3月卒業 (奈良／帝塚山高校出身)

入学時

世の中の仕組みやルールをめぐって
興味がわいた分野を学びたいと考えた

志望学部を考えるタイミングでは、文学部や経済学部も検討していましたが、高校で社会の仕組みについて学ぶ「政治・経済」の授業が好きだったこと、検事が活躍するテレビドラマの影響で、法律に対する興味が高まりました。関西大学の法学部は歴史があり、法学のさまざまな分野を自分の関心に応じて学ぶことができそうだと思って志望しました。入学前の時点では、法曹コースなど特修プログラムに参加することも考えていました。

1年次

解釈によって「答え」が
変わる点を面白いと感じた

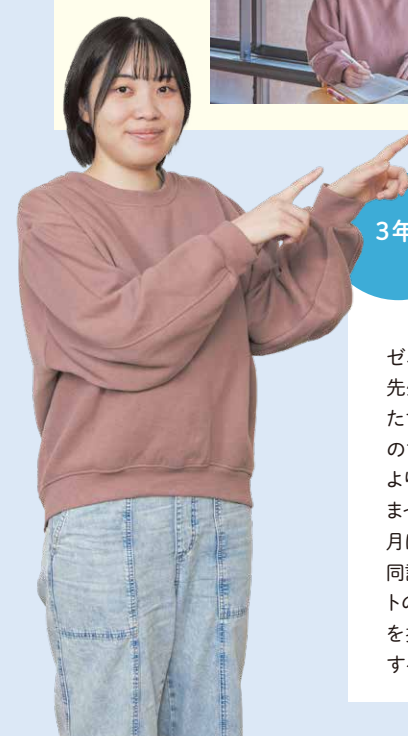
基幹科目を中心に履修し、さまざまな法律について学びました。高校までの勉強は問いと答えがあらかじめ決まっていたが、法学部で学ぶ条文には絶対的な正解がありません。解釈によって判決が異なる場合もあり、その点が面白いと感じました。なかでも日常生活に関わりが深い民法に興味をもつように。法律が関係するニュースの用語が分かるようになり、もっと広く深く学びたいと思いました。

2年次

民事訴訟法の講義を受け自分に合う分野だと感じた



「民事訴訟法」という講義を受講しました。民事訴訟法は、誰かが誰かを訴える際に、どのように手続きを進めていくかを定める法律です。例えば裁判で判決を下す際には、当事者が主張していない事実に基づいて判決をしてはならない、証拠調べは当事者が申請したものしか調べてはならない、といった基本原則があります。私はこの分野が自分に合っていると感じ、3年次から民事訴訟法のゼミに進もうと決めました。



3年次

自分の意見を
客観的に分かりやすく
伝える力がついた

ゼミでは、民事訴訟に関するトピックをレジュメにまとめ、先生が添削してフォローして下さる形で進みます。私たちの学年は女子学生が2人で、お互いの距離が近いのでためらわずに意見が言える環境です。高校生のころよりも、自分の意見を分かりやすく伝える能力が格段に高まったと感じます。また、12月には名古屋大学との合同討論会に参加。ディベートの場でも客観的に論拠を提示し、論理的に発言することができました。



4年次

多様な講義を受けて
興味を広げつつ
卒業論文の作成に集中

卒業に必要な単位がほぼ揃ったこともあり、共通教養科目の「民俗学」など、法学部以外の開講科目も履修しています。卒業論文は「裁判における当事者不在の場合の代理人」について執筆中です。法令の解釈の仕方が何通りもあり得るため、視野を広くもって考えるようにしています。



Q 法学部で身に付けた強みは？

社会での
活躍

A 自分で物事について調べ、考え、行動することを習慣化できたことが、いちばんの強みだと思います。社会をどう捉え、自分にどういったことができるのか、どうすべきなのかを考える力は、今後の人生に役立つはずです。

Q 卒業後の目標は？

A 人材業界で、求職者と企業人事の両方の未来に関わる仕事に就きます。大学で身に付けた物事を深く考える力、客観的な根拠をもとに語る力を生かしつつ、業務を通して関わる一人一人の理想を実現できるように努力を続けていきます。

Q 法学部で身に付けた強みは？

社会での
活躍

A 判例や条文から必要な情報を抜き出し、整理することを4年間続けたことで、情報を読み取る力が身に付きました。今後、ビジネス上で資料や文書を扱う場合にも、情報を適切に理解する力が役立つと思います。

Q 卒業後の目標は？

A 物流業界に就職します。具体的な業務内容は未定ですが、大学の4年間を通して自分の置かれている状況を整理、把握して対処する力が身に付いたと感じており、その力を生かして貢献したいと思っています。



卒業生からのメッセージ

法と政治を学んだ卒業生の皆さんが、
さまざまな業界の第一線で活躍しています。



進路・就職

大学で学んだ基幹的な法律の知識を生かして日々の業務に取り組んでいます。

法律相談、示談交渉、訴訟活動、社内の法務相談などさまざまな業務を行っています。所属している事務所の他の先生方と共同で仕事をすることが多く、交通事故の相談では、保険会社と示談交渉をすることもあります。時には、行政事件を担当することもあり、行政庁と折衝をすることもあります。また、不動産業界の会社の社内弁護士として法務相談を受けたり、社内規定の改定や社内研修の監修なども行っています。



長野総合
法律事務所

2020年3月卒業
池本 亮太さん

弁護士としてさまざまな業務に取り組んでいます。

現在につながる在学中の学び

大学で各法律の概要を学んだことが、仕事の随所で生かされています。

例えば契約書をチェックする際に、契約書に記載されていない事項は、民法の規定によって補完されます。それによって、依頼者の契約に不都合がないか、別途契約書によって、民法とは異なる解釈をしないといけなのではないかと考える場面はよくあります。

抽象的な文言を具体的に解釈し、理解する力がスムーズな業務遂行に役立っています。

石油や天然ガス、原子力や新エネルギーを商材とし、グローバルに事業を展開するエネルギー本部の戦略企画室に所属しています。主な役割は、本部のめざすビジョンを策定することです。低炭素社会の実現に向けてどのような施策を打つべきか模索しつつ、その他にも組織・人事、広報・IR、稟議・決裁業務と幅広く対応しています。今後は海外出張を目標に、グローバルな働きをめざしたいと思います。



丸紅株式会社

2021年3月卒業
弓倉 碧衣さん

さまざまなエネルギーを用いたグローバル事業の展開に携わっています。

現在につながる在学中の学び

法律を学ぶ中で身に付けた論理的思考力が今の業務に役立っています。

在学中に抽象的な言葉を具体的に理解しようとする論理的思考力が身に付き、その力が社会に出てからも役立っています。社内の規定や決裁基準を「解釈」して正確に理解する作業が、スムーズな業務遂行のためには不可欠だと感じます。

国民の生活を守る行政官として、法と政治の知識を生かして職務にあたっています。

航空機内の検査、職務質問・手荷物検査、航空機貨物の積卸しの確認などを行い、拳銃や違法薬物、偽ブランド品といった、国民の生活を脅かす物品が日本国内に流入することを防止しています。現在の職務において、在学中に学んだ法の知識は、根拠となる法令を理解して適正な法執行を行うために欠かせないものです。今後も、国民の安心安全な生活を自身の手で守っているという責任感と緊張感をもって職務にあたります。



大阪税関

2023年3月卒業
中川 玲夢さん

関西空港で航空機に出入りする人や物の取締りを行っています。

現在につながる在学中の学び

法体系を基礎から学ぶとともに、公共政策や政策過程を学び視野を広げました。

現在の職務において、適正な法執行を行うために必要な法体系の知識を基礎から習得しました。また、公共政策や政策過程を学んだことが、短期的な政策目標だけでなく、中・長期的な問題意識をもって業務改善を行うことにつながっています。

大学で学んだ基幹的な法律の知識を生かして日々の業務に取り組んでいます。

私の主な業務は、新規納入や定期メンテナンスに関する契約業務、価格交渉、納期調整などの商談です。営業職は社外との窓口であり、社内の調整役としての役割も担うため、時には板挟みになることもあります。しかしその分、自ら主導権をもって仕事を進められることに魅力を感じています。また、取り扱う案件の金額規模が大きく、多くの関係者と一丸となってプロジェクトを推進するため、大きなやりがいを感じながら働いています。



三菱重工業
株式会社

2024年3月卒業
金田 志寿紀さん

試験装置を扱う営業部門に所属しています。

現在につながる在学中の学び

「法律を解釈する力」が、業務のさまざまな場面で役立っています。

法学部で身に付けた「法律を解釈する力」が現在も役立っています。業務に取り組む中で、法律を直接使用しない場面であっても、契約書の確認や、製造業に関するさまざまな法律に関わる場面で、抵抗感なく適応することができていると感じます。

2024年度 法学部生の就職状況

就職率

97.3%

就職先の一例

製造業	IHI／アシックス／味の素／エフビコ／エレコム／カゴメ／キーエンス／クボタ／神戸製鋼所／コカ・コーラ ボトラーズジャパン／小林製薬／ジェイテクト／島津製作所／シャープ／SCREENホールディングス／住友金属鉱山／住友精密工業／住友電気工業／積水化学工業／象印マホービン／大王製紙／ダイキン工業／ダイニチ工業／大日本印刷／タカラスタンダード／TOTO／日清食品ホールディングス／日清製粉グループ本社／日本電気(NEC)／日本板硝子／パナソニックグループ／古河電気工業／本田技研工業／マクセル／マツダ／三菱自動車工業／三菱重工業／三菱電機／三菱マテリアル／三ツ星ベルト／ミネベアミツミ／村田製作所／ヤマハ発動機販売／ヤンマーホールディングス／雪印メグミルク／YKK AP など
公務員・公立学校教員	芦屋市職員／池田市職員／茨木市職員／大阪市職員／摂津市職員／岡山市職員／京都市職員／神戸市職員／滋賀県職員／奈良市職員／広島市職員／東京都職員／大阪府職員／京都府職員／和歌山県職員／奈良県職員／鹿児島県職員／国税専門官／国家公務員一般職／国家公務員総合職／裁判所事務官一般職／財務専門官／航空管制官／入国警備官／労働基準監督官／防衛省専門職員／大阪府教員／大阪府警察官／京都府警察官／滋賀県警察官／和歌山県警察官／岡山県警察官／東京消防庁／神戸市消防吏員／防衛省自衛隊 自衛官候補生 など
教育・広告・その他サービス業	JTB／TMI総合法律事務所／中日本高速道路(NEXCO中日本)／西日本高速道路(NEXCO西日本)／日本M&Aセンター／阪急交通社／PwC税理士法人／ペイカレント／合同会社ユー・エス・ジェイ など
情報通信業	アグレックス／伊藤忠インタラクティブ／エヌ・ティ・ティ・コムウェア／NECソリューションイノベータ／NTTデータ・グローバルソリューションズ／NTTデータ関西／NTTドコモ／オービック／オービックビジネスコンサルタント／関電システムズ／コナミグループ／さくらインターネット／JFEシステムズ／JSOL／TIS／TKC／西日本電信電話(NTT西日本)／日本アイ・ビー・エム／パナソニックインフォメーションシステムズ／富士通／読売新聞東京本社／楽天グループ など
金融業・保険業	ジェシービー／三菱UFJニコス／ジャックス／住友生命保険相互会社／損害保険ジャパン／大和証券／みずほ銀行／みずほ証券／三井住友銀行／三菱UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行／明治安田生命保険相互会社／ゆうちょ銀行／楽天証券／りそなグループ など
卸売業・小売業	因幡電機産業／オー・ジー／岡谷銅機／佐藤商事／JFE商事／帝人フロンティア／トラスコ中山／阪和興業／日立建機日本／富士電機産業／高島屋／ニトリ／ファーストリテイリンググループ／あらた／イオンリテール など
運輸業・郵便業	近畿日本鉄道／センコー／全日本空輸(ANA)／西日本旅客鉄道(JR西日本)／日本航空(JAL)／日本郵便／阪急電鉄／北海道旅客鉄道(JR北海道) など
不動産業・物品賃貸業	イオンモール／野村不動産／三菱HCキャピタル など
建設業	長谷工コーポレーション／前田建設工業／リンナイ／積水ハウス／日立プラントサービス／ピーエス・コンストラクション／ライト工業 など
電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力／大阪ガスネットワーク など
その他	日本年金機構／大阪商工会議所／独立行政法人国立病院機構／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構／パナソニックグループ労働組合連合会 など

大学院への進学

研究者をめざす人だけでなく、司法書士、税理士、企業法務担当者、国際機関職員など、法や政治に関する高度な知識を必要とする分野での活躍をめざす人にも、大学院に進学するという選択肢があります。法学研究科は博士課程前期課程(2年)と博士課程後期課程(3年)からなり、法政研究コース、高度専門職業人養成コース、国際協働コースを設置しています。修了生は、研究者、法律関係の事務所や企業、国際機関やマスコミ、公務員など多彩な分野で活躍しています。

大学院修了後の就職先

神鋼鋼線工業／芝浦機械／日本板硝子／住友電気工業／リクルート／第一法規／富士通／阪急阪神エクスプレス など

Q1 大学院に進学した理由は？

A 学部3年次の冬から司法書士をめざして勉強を始めました。大学院に進んで、司法書士になった後に生かせそうな分野を研究しながら、同時に合格をめざして試験勉強を続けようと考えました。

Q2 どんな研究に取り組んでいる？

A 認知症などで判断力が衰えた方の財産管理や生活上の契約を助ける「成年後見制度」を研究テーマに選びました。現状は本人が元気づけに後見人を決める「任意後見制度」の利用が少ないため、その原因と改善策を研究しています。



法学研究科
高度専門職業人養成コース
博士課程前期課程 2年次生
中井 一樹